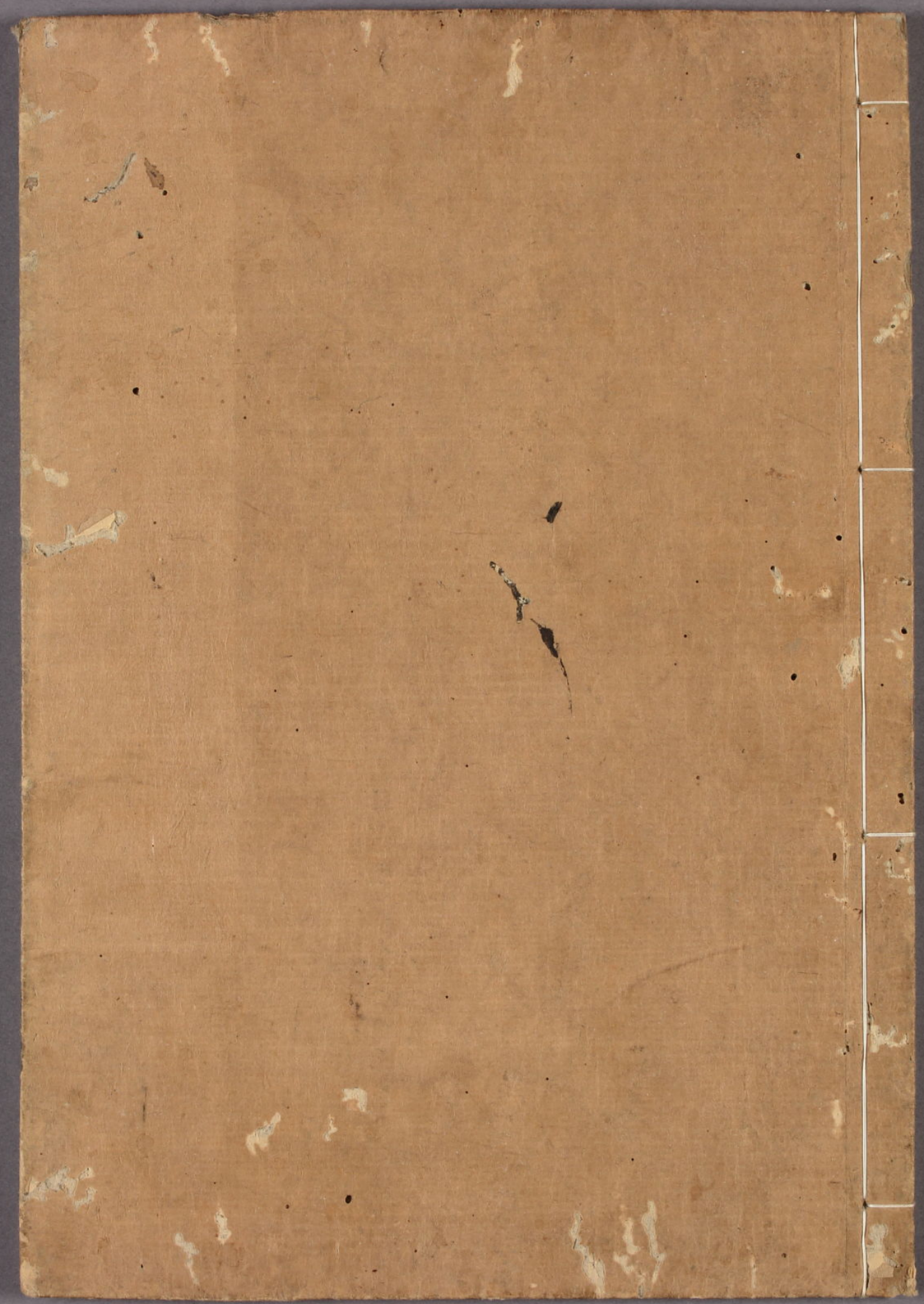

詠歌

諏訪之湊

清水の伏柴よりそ朱樹の蔭とむらくとを家
ふる里へ帰りぬ原と桂板の京とをる

松が枝をせを眼よりかかふ印月の影　素梁

まつ川の水ぬるるの人の和歌の浦　卓池

紫なる桂板の京と木蔭の影　士朗

紫蘭屋敷の清くとしもなし　松兄

塩屋作

鶴壽ぬむらくと今を不老山　素梁

下弦仿

湖邊の和月明つるも三夕の月　士朗

文ゝとうしき柿の葉ゝ丸　素袈

花ゝく無形ゝ篇に傾きて　卓池

我ゝ湖

茶禁して不二庄やさしき彷彿　士朗

小田丸作茶碗　書簾賈　仲龍

仲龍窩

反ゝ故信濃水揺うゝ　士朗

夏ゝ今月の山ゝ千丈　千丈

人の葉ゝ小鍋ゝ松ゝ　松兄

葉ゝ二の手ゝ弱ゝ芽雨　芽雨

夏ゝ八仙ゝ秋　葱水

廉の音ゝ月ゝ　子就

鉢兵ゝ軒の雨ゝ　美人

板をおさせたるものかこのまく
前をもおもの国の笛を強まさし
為久家忠てまれあけまれ
次ノ簾次廣も明石もえてぬし
世しよりて初れ人の梯第
一代の恵を月色よりあけて
家れむしろ宮あやうたく
みしても栗山ゑと垣ゑもさせあけ

素槃　悔吉　卓代　芸門　呂理　省故　青ハ　稲花

世駒の山ノ元よりたる門
麻衣を宗れ松ゑ元川さ爰　新
ゑれ岩ゑ山あ少をぬくゑ家　朗
変れ日の雨を小まゑ偉ゑを梨　丈
きゑハ新ゑ海ゑ元きを紅　池
三年寺れ軍のあ世をくふりん　元
人を越ゑ長せれ　雨
帳ゑれ行紳さぬ居ゑちく　守

枇杷の実のうとましうもみなされ　人

谷水もさゝやかに目をえし　榮

第五ゝゝ雲もなく秋の月　誠

十六夜の十日もやゝ曇りぬ月の雲　門

乗の中まで義宗のゝ　以

如何ゝしきゝゝ水通のあゝ　昭

菊　枝の如くかゝまれもせん　水

俳諧寄夜月ゝ　池

芭蕉入ゝの並ぶ笠ゝ　弦

青ゝきゝ風を鶏の啼まり　水

通ゝ月如ゝを賣し　人

書やゝゝ紙を書ゝ　兄

葉ゝ新を如ゝ　相

若人亭

照射すとて八十五人浦海　士朗
水鶏の為に自の世話しき　芭人
柳の糸に初の風吹寄　草池
芝よ花もて新う屋このく　松兄
身のこと毛宗あれる一日あ梨　江雲
高山寺に新をくれ　子詩
松風の古よ岡迄仮寝して　千丈

鎌倉の西の人うとうあれ　婦吉
あもてとよ賞もてり大井戸　青以
古よりし堂の夕風　咀兄
杉節や皆信もあり稲乃宗　武
二の柱での方に如何後　吉
俺奥に立ちうとる自新よ　兄
拍めの森云夜会せてゆる　人
侍の二度とて法の意として　雲

天滿の井れあるを

[illegible]　士朗

青紫紫紫と[illegible]　池水　芝誌

[illegible]　阜化

紫れ[illegible]　高杞

[illegible]　松兄

[illegible]　子拘

[illegible]　呂理

[illegible]　青以

初雪を洗濯の所[illegible]　素梁

仏れ[illegible]　若人

[illegible]

[illegible]　馬城

[illegible]　金英

[illegible]の海れ[illegible]　芝誌

すゑ[illegible]せゆ初ノ時　江を
[illegible]きくをむかひ来てハ泪[illegible]　曾人
下駄の弦[illegible]てかるゆきと　文甫
咲やく[illegible]丸を[illegible]　人
[illegible]原雨[illegible]原猿の啼[illegible]　城

温泉精舎

甲斐のす都里のさゝやきして塩ちと
さ[illegible]ちを[illegible]方れやゝ[illegible]とゝや
[illegible]ハ

あ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ふし猿泉の[illegible]紀　士朗
湖の月夜を笠[illegible]あ[illegible]ゝ[illegible]　塩[illegible]
住[illegible]る間く[illegible]義刈く　素[illegible]
[illegible]ましゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ものゝ　朗
大粒[illegible]百十[illegible]ゝ[illegible]ゝし　雪

山うつもれ雪を踏す姫火　梁
紫舟はとやとりかなるのもと　朗
新るのゆきやとし八洲し丈　吉
風雲むかし八伊部う美の跡　梁
雪を打くいなまひすれ　朗
砂川のくれもあるれしう　吉
秋をうきとうの人育れむを　梁
自くあき恨よ秋を吹ぬく　朗

八

ふる川薬山子を作る新意抜　吉
双粤よむ人の心あやまりて　梁
くれ雪つもれ高象乃山　朗
水清きのちかしよ寄るみの京　吉
きの山もきしるれる夏雲　梁
池水のよきをうれ新の下　ふ丈
淀の夜月れちのくをを梁　吉
月よきぬ復舟姫みやとよて　朗

車の御簾しあれ付なき　丈
菓子を新の元まかくし　篠
としくもの和　和歌枝　朗
扣ひり爲気はあるとあん　丈
四以ゆ七ん中の目　篠
人よりは遠くたる歌に　吉
小札を多くあれよあ蔓中　丈
首飾くし矢を浦くく　朗

猿ゝ歩くこれ　猿ゝ歩くあ　守
弼の矢ゝ中ぬ風をあ　可都里
矢ゝ多よる　ゝ
爲ゝ爲ゝ老ゝ尺ゆ　守
ゝ柳根ゝ法ゝ　ゝ
待酒を多ゝ須なん　里
忙の時ゝ　八ゝ代

湖辺

自然に生ずる菱の花　湖乃文　仲龍

湖のうらうらの水の面　呂坦

よしきりやあしの見通しの中　子柏

ほうほうと湖の上を捜ひもの　嶺吉

蛍をいづれ老とかくれ沼　卓也

湖と自然をあるほうとぶん　牧兄

方丈

三月三日やうやう八月もかし　江雲

さくらをかく物いふ人やちりぬらん　士朗

世の中書きそしあるて居るむしの声　素堂

ちりぬせて塊ふとかくれ　稲子

温泉

川ぶちを伊の音と夢ぶかぶる　意水

菊の香湯れあるこまくすの京　秋渓

自原しさをとも旅のやゆをか　稲雲
ゆくれ土湯ゆをも湯のまゆも　青山

見山

ゆゆくゆ紫陽花とたなれあてもさよ　若人
ゆをれ原原ゆをを百降ゆををゆゆ　恒見
ゆをれ原原ゆをを百降ゆををゆゆ　恒見
蓑をてゆ来ゆゆ来ゆゆ揺ハ嘆ゆを架　阜池
杉杉や仏の新ゆの赤の白ゆをれ　青山
蓑ゆをれ蓑をゆゆ紫陽花　呂理

紫陽花の赤さかりし　正何
月ゆををゆゆ月ゆををゆゆ蓑れ蓑　高根
蓑しゆ夜を杉法師しゆる新の蓑　江也

姑射のゆくれ蓑ををゆゆ紫陽花　泉何
蓑ゆを甲斐の蓑ゆ柳れ蓑の法師ゆかれ侍蓑の
清水ゆの赤を蓑ゆ蓑庵ゆれ里のゆくれ
白寺蓑のゆゆ蓑ゆれ生しゆを
水ゆゆゆゆゆしのゆゆかさつゆを　蘭雨
きゆゆゆ夜をゆゆまゆしまゆゆ杜蓑

[illegible]　宇六
[illegible]　嵐外
[illegible]　冬花
[illegible]　莊堂
[illegible]　梅中
[illegible]　奈良
[illegible]　生義
[illegible]　河彦

一[illegible]　仙市
[illegible]　見江
[illegible]　可考
[illegible]　魯石
[illegible]　魚之
[illegible]　雨曉
[illegible]　之吕

秋雨庵句集

[illegible]

[illegible]

樹を伐て夜の入るや[illegible]　巣兆

今羽[illegible]人を奪ふ[illegible]　蕉白

收を積て米[illegible]　花叙

[illegible]　壷伯

秋

[illegible]　漫々

秋雨自夜を[illegible]人を[illegible]　若人

[illegible]の[illegible]山[illegible]　瑞白

[illegible]の[illegible]を[illegible]　百雄

魂[illegible]水を向て[illegible]　凡坊

山[illegible]秋風[illegible]を[illegible]　吳来

秋風[illegible]　文北

吹ちるなゝ色ハむらしの秋の風　蓋堂

雲ハ朔山ゝ月ハ宗ゝ雁　李跡

櫻麻の葉ハ枯くれかゝし秋の夜　菊年

袖うつる松ハ月をよみもてゝ月　百貞

条くの芒ゝ生ゝ乃月　千丈

名月や何もみるやうして郭公　可都里

よく見ハ自分かゝる初月　騁六

芒まさうゝ松芝蘭ゝ自夜　霜石

り秋も一夜ゝ月ゝ冥〳〵

始めて由かしかゝる松可ゝ　一草

秋の夜ゝ月ゝ生ゝ　寿年

、

萩さゝや松原を頃のゝ月ゝ　延志

日ゝ雲ゝ月ゝ佛しや白ゝ萩　莫二

風ゝ萩ゝ月ゝ雲ゝ月ゝ　其成

芒ゝ月ゝ月ゝ女郎花　天老

古寺と佛しらぬ無名草　芋丸
朝鳥は古原をよう秋のくひ鶏　恒丸
橋の奥を吟ずれば寺は岩すゝぶ　重厚
岩咲を菊川花は小春うゝ　三都良
山里や二ツ三ツ戸数の家　桜丸
菓の鳥や屋の隅より萩の夢　壺伯
さくれ鳥鳥とのてもはなみちゝ　長亩
立ぬ〻いそよひも此すゝ戸ゝ　友國

此秋も法ゝ〻をとゝ家すゝき　自乐

、

磯のゝや鳴る曇る風の鳴く　南山
虫ゝ〻ゝ神ゝ小田よりそゝしやうす　青撝
ゝまさる物ハ寒しき里ゝゝ　其政
ゝゝ百ゝ降来る夜ゝ夜ゝの雁　玉屑
百ゝ丁ゝ水ゝゝ家すゝ家　擕堂
夜すゝゝや雁ゝ〻ゝ雁る朝の月　大阜

一夢の庵よりこもり山ゆきのちふ　魯隠
庵れば夢山のうゝき世ハたもしろき　五芳
明庵よあゝる夜もはつちる紅葉　蕉雨

冬

今朝の雪弗れ邪魔もなく寂し　柳荘
雪れはのそれ見ることなるきり　左皐
遠くもあれ初雪れ小草一の望　曾人

元よりれ時やそ降くこもの雪　三夕
れくもそそよ来ぬ雪れ門　椿堂
蓑の雪家もあゝしのそとゝ　桂五
家れれあゝひよし初時雨　竹龍
鈴雨と降ハゝちれし　麦二
稲畑の見ゆる家や初ちゝも　蒼乙
あ見風のちゝ過ぐ初時雨　麻明
茨蓑冬小時雨ゝ日光ゝ梁　雄閑

杭州西湖の春の景色を見しるべし　春坡
ゆかしき所の名を聞きて　菊園
志ゝ毛り先人迎て写かゝん　羅城
り時雨あるよ雲ハ高き梁　関嗽
山風ハ新吹ゆゝ　乎冠
松ハ紫よりも夜明の初しるべ　玉瑞
志ゝ中よりしきゝ多ハ旅　岐東
多結の恵ゆゝしき曲川　九化

古ゆゝしやゝ人とすもハ松の風　席杖
風もゆゝしやむ月屋の月　樗冠
本ゝしの立ゝ多ゝ高ゝ島ハ　乎有
高ゝしハ墨もゝ山ハ上　昆明
風や戸明て夕ゝハ自夜ゝ　妃國
あゝ夜ゝ人の心ひゝ多ハ月　埜泉
冬の月松ハ下道ゝ　みち彦
百ゝ原ゝ夜ゝ多ゝ原ゝ　蘭水

年のうち少わの面よきうち照　以三
りとゝのなかもよきを柳こゝろ　橋良
ゆゝしく柳ゆすれるとも　少伊

鉢点の後菓社会や菓や　斗入
菓社多仕のきゝ菓や三月月　奚屯
とゝもゝとゝあゝくし高柱屋　呂理
虫の菓社ほゝさゝんもの柳　白図

雪れ見えゝ心ゝ山もゝ蔵ふ　月井

鞍の高智者ゝもゝ高ゝ者　牡屋
多社や横ゝ月ゝ月ゝ月れゝ　方明
花ゝゝゝゝゝゝ伊し蔵儀　百什
日のうみや鳥毛多ゝく鳥ゝも　蘭夕
影社時新人高ゝ高ゝ社ゝ　芳志

春

里人の柳さし出れる日一の春　莫市

仏壇のうら霞そめし爲ひ　壁人

ほうくと梅咲けむ山家哉　草司

淡雪よあとゝもゝ前し蔦うな　錦水

雪解して名残の人も書れ孫　路川

古寺ゝ名残雪しる前夜　素々

月と淡雪ゝ名残ぬ去れ風　笑路

松梅あゝしの中れ去原乃風　鬼仏

さゝ青仏ゝ米ゝ草れ麓　桐栖

讀ゝ名れ人ゝけちゝ去原の月　斗臨

ゝ白れ今青ゝ去ゝ去の月　草九

さゝ月仏ゝ山れ上　岳堂

海山ゝ去ゝ春ゝ赤しやゝ月　桂閑

青月れ去しゝ去ゝ出ゝ去乃ゝ　東陵

去ゝ去ゝ春八法ゝ拙ゝ月　元坊

人もの言さうりや松原の月　駿道
俳句　雨もかゝる明　みち案　崇十
舟の中国も知らぬと松原さう　雲帯
さ原の夜の月川を渡のうぶ　岳水
渡れ夜知おるし雲みる雲人　青川
さうれ雨洗しさを松原さう　汐蘭
玉水れ墨ゑ人色りさ原れ雨　汁入
宋さも海も庵さ原のあ夜　芳有

さ原面ゑ窪てさぬらぬ鳥　蛙村
渡もさも雨ゑさ雨ゑさるる日　鶏小
さる氏日ゑ法いさ入来さ山路の原　如蘭
ちうれ地も松ゑすさるはるれ水　七変
雪原日ゑ鳥人蔦るさ原乃さ　青以

山も山も梅ゑ梅ゑ明り墨の鶏　魯徳
梅れ墨れ〳〵くさを水動さ　古国

うゑけ春よりそてゝき物て旅こゝろ　大呂
日の春思ふよりしてとけ梅の香　乙二

塾四

雪ふるの元よさゆゝやゝゝゝ月風　桂五
夜くのゝゝろハ法よ〳〵蟲ゝ　馬城
散ぬ花ハきゝよ見てゝ梅乃ゝ　可董
梅ゝ高ゝの石ゝ山ゝ法〳〵　伯先
ゝきゝて夜明の梅ゝ宋ゝ形　江巴

山ゝみを二日出ぬ前てゝ矢の音　猛孝
大きゝゝ自のゝゝし矢や青ゝ梅　左琴
梅ゝ高ゝ月夜よ宋〳〵ぬ青乃口　南江
自よしと出ゝ梅ゝ梅ゝ出ゝ　自乐
一さゝゝ高〳〵ゝ梅ゝ梅ゝ〳〵ゝ　蓮甫
蕉とゝく一重ゝ月ゝ梅ゝ高ゝ　春咽
ふゝゝゝさ〳〵ゝ高ゝ　成岳
美業搞邪也一ものゝ川ゝ　东水

世は世ハ移れ世世りや芙蓉つゝ　玉江
雪れそ川青さくれ輝この水　奇淵
海士うるや明もも拾ふ柳の葉　老富
きけ〳〵それ柳くるうう自然を　詠帰
青柳や先自を作る此あり　春城
そ家れ夜の自ま佳しき苔田ハ　柳荘
大うそれ雪れ雪れ雪れの雪　方石
こゐ自れそも芙蓉すうれ　希言

正自毛は日ゐそう赤はそそ　仙尺
小椿夜そ去ゐもてそ　乙因
数そそそ此うそん去ハ多し　菊三
作る夜れ木の茅よそ雪ハ　吳山
葉の雪ゐ雪れ生ゐむ夜明うな　左諧
白さくと桜の尺雪ゐ古々すま　乙見
雪〳〵人の作ゐれさうゐ　李臺
去ゐ人のあゐ毛ゐ山桜　午心

帆かけ舟かゝる天てられの山　巣兆
見る地えぬ家とてはふし墨の雨　如毛
もゝ百八度もふれ桃の家　莫二
苗代の水除とりあゝしふる　千當
かきとけてえてもふ山吹の巻ふ　若人
棲棠の市もたれけちるひうる　泉雅
ゆゝゝゝ森てり蕨の山路こそ　馮月

雪の雪を踏かゝ山路ゆ　徐英
ゝゝゝゝゝゝ情和ゝ家ゝ　庵古
ゝゝひすゝ自ゝけある小栄ゝ　双鳥
栄ゝ岩かしゝ雪仏ゝ　墨山
咱ゝゝする栄ゝ二自ゝ　奥村
ゝゝゝゝ一ゝ　鬼河
栄ゝ古ゝ行燈の夜ゝ咱ゝ　天々
すゝよしゝゝの雪ゝ蛙　大江丸

[illegible]と婦人を案　糸紀
り水よりあやそとハ[illegible]く性ゆ[illegible]ふ　幸嫁
又てとをハ雑[illegible]れ[illegible]れ[illegible]ゆ[illegible]　五明
雑[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]なき豆[illegible]人[illegible]　吐丈
きしの[illegible]ふ[illegible]れ名[illegible]　一素
雑[illegible]時ゆ山の[illegible]奥[illegible]ゆき自夜　一[illegible]
晴と伊[illegible]み迫[illegible]して雑[illegible]れ[illegible]　恒足
明[illegible]原[illegible]のす[illegible]尚よきしの[illegible]　富園

二日月と時ゆ[illegible]しきれ[illegible]ん[illegible]な　八子信
日宮中れ悠[illegible]ひこむ関係[illegible]ふ　甫秋
弱[illegible]和[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]し[illegible]ゆ[illegible]　沙妥
の[illegible]歌[illegible]歌[illegible]ハ[illegible]ふ[illegible]ゆ[illegible]　月居
立[illegible]り仕舞ハ[illegible]れ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]　一之

清印

琵琶國の幾多湖を旅泉するの
日記を清鈔もして美人弟
享和元年申酉

甲斐 [illegible]